

文部科学省 平成26年度採択「地(知)の拠点整備事業(大学 COC 事業)」

とくしまで学び育てる 地域貢献型人材育成事業

平成28年・29年・30年 実績報告書

「大学 COC 事業の意義と今後の展開」

四国大学 学長 松重 和美

四国大学 COC 事業『とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業』では、平成 26 年度より本学が位置する徳島県の豊かな自然、伝統文化や産業、そして人間味ある人々の暮らしを新たな視点で調査・研究しつつ、地域教育として、学生が実際に地域へ入ることで、地域の実情を体得し、課題とともに眠る宝を見出し、自治体や地域住民と協働で課題解決に向けた取り組みを行ってきました。これらを推進する核として「四国大学地域教育・連携センター（愛称：SUDAchi 推進室）」を開設するとともに、県内 3 カ所（西部・南部・勝浦）に、スーパーサテライトオフィス（SSO）を設置し、地域に関する教育・研究の充実と自治体・企業や地元住民等との共同研究や課題解決策を模索することで、地域の振興・活性化の促進を目指し、併せて「大学的徳島ガイド」の出版、特徴的な“新あわ学研究所”や「あわ検定」の創設など、本県の魅力を県内外に発信してきました。

本事業は、平成 30 年度で文部科学省からの助成期間が終了し、一区切りを迎えますが、根幹にある「地域貢献型人材育成事業」の理念を、四国大学の地域教育の柱として位置づけ、今後とも大学全体で組織の簡素化・高機能化や外部資金の獲得を計りながら、地元自治体等とも一層密に連携して、徳島の地域創生や地域貢献人材の育成に努めて参ります。

また、本学は平成 27 年度に「COC プラス事業」、更に平成 29 年度に「私立大学研究ブランディング事業」にも採択されました。前者では、創業・起業マインドを持った人材育成に、後者では「阿波藍」の新たな価値創造を目指した文化的・科学的研究及びその魅力発信・人材育成に取り組んでいます。こうした事業を通して、地域や世界から学生が多様性を学び、将来地域の活性化に寄与してくれることが期待されます。本学としても「先進的地域貢献大学」として、地域の方々から広く信頼、認知されるように更に尽力したいと思っています。

最後になりますが、地域の自治体、企業、市民団体、本学の教職員、そして全ての関係者の皆さまには、これまでの本学の取り組みに対して頂いたご理解・ご支援を感謝するとともに、今後とも密接に連携して、大学の目的である「人材育成」と地域活性化への貢献活動を推進していく所存であります。



「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」
文部科学省 平成26年度採択
とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業
平成28年・29年・30年 実績報告書

目次

1	事業概要	2
2	活動報告（Ⅰ 教育）	
①	新「あわ学」構築及び「あわ検定」実施に係る検討	4
②	四国大学地域教育プログラム	10
3	活動報告（Ⅱ 研究）地域志向型教育研究	18
4	活動報告（Ⅲ 地域貢献）	
①	「美馬市観光交流センター事業」及び「県南地域づくりキャンパス事業」推進研究	82
②	SUDAchi（すだち）講座	94
③	まなびーあ徳島 新あわ学コース	102
5	活動報告（Ⅳ 全体）	
①	地域活性化フォーラム	106
②	スーパーサテライトオフィスの開設と活動	102
③	学内外への周知活動	116
	・ 地域活性化リーフレットの配布	
	・ 学内フォーラムの開催	
	・ パネル展示の実施	
④	実施体制等	128
	・ 各種委員会委員名簿	
	・ 大学COC事業実施体制	
	・ 各種委員会等開催日程	

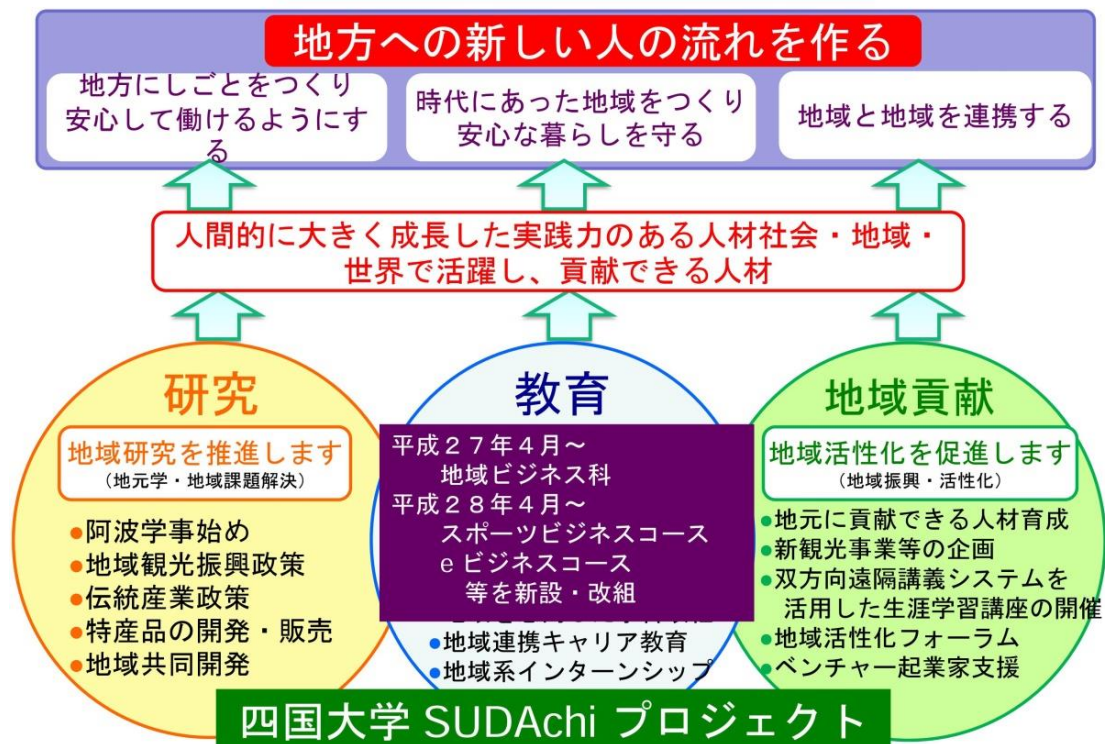
1 事業概要

「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」

「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」は、地元出身者及び地元就職希望者の比率が極めて高い本学において、徳島県の地域課題である少子・高齢化に伴う地域経済の減速を食い止めるため、全学的に地域志向型のカリキュラム・教育改革を行い、地域を志向した教育を実施するとともに、地元自治体・企業・住民とも連携し、地域貢献型人材の育成と地域の活性化をめざす事業です。



地域創生、新たな大学の役割



事業概要

平成26年度「第2回学内フォーラム」資料から抜粋